

# 太陽光発電による二酸化炭素排出削減量

吉野石膏では、2012年より自社の敷地内を利用し太陽光パネルによる発電を進め、太陽光パネルで発電した再生可能エネルギーを活用することで、地球温暖化の原因である化石燃料からの転換を推進しております。

2024年の太陽光発電量は、15,235MWh(累積)となりました。この発電量に相当する二酸化炭素排出削減量は、6,627tであり、スギ林663haとなります。



	太陽光発電量	CO2排出削減相当量	CO2吸収相当量 (杉林耕地面積当たり)
2024年8月	2,407 MWh	1,047 t	105 ha
2024年累積	15,235 MWh	6,627 t	663 ha

自然エネルギーの使用拡大の取組